

「悠久の森」について

1 趣旨

世界文化遺産に指定されている「厳島神社」は、平成3年に来襲した台風19号で大きな被害を受けました。この被害を教訓に、厳島神社の大鳥居に必要なクスノキの確保に努めようと、宮島町の有志が「宮島千年委員会」を結成し、島内外におけるクスノキの育成活動に取り組んできています。

また、平成13年8月には、近畿中国森林管理局が、宮島国有林全域を「世界文化遺産貢献の森林」に設定し、文化遺産の保全等に向けた新しい取組を始められています。

「悠久の森」づくりは、厳島神社のシンボルでもある大鳥居の用材となるクスノキを、ボランティア団体・関係機関等との連携を図り、宮島（宮島国有林）で育成していこうとするものです。

2 設定箇所

広島森林管理署管内 宮島国有林 7 2 林班へ小班5.49haのうち約0.80ha
（林況：林齢52年生 広葉樹、アカマツ等）

3 主催

宮島千年委員会、近畿中国森林管理局広島森林管理署

4 協力・参加機関

厳島神社、宮島町、宮島ユネスコ協会、宮島町内中学生、もりメイト倶楽部 Hiroshima、CCC自然文化創造工場広島事業部、広島大学宮島自然植物実験所、広島県、環境省広島自然保護官事務所

5 内容

(1) 日 時

平成15年4月12日（土）

(2) 講演会（宮島町内の中学生を対象）

演題：宮島の植物について

講師：豊原 源太郎氏（広島大学 宮島自然植物実験所 助教授）

場所：包ヶ浦県営キャンプ場管理センター

時間：9:00～10:00

(3) 次 第

10:00 集合（包ヶ浦県営キャンプ場）

10:15 開会式

10:30 刈払、植樹、シカ防護柵設置

12:00 閉会式（悠久の森看板序幕）

今回の植樹祭は、島内の中学生を中心に行いますので、一般の方の参加はご遠慮いただきます。

担当：近畿中国森林管理局

中島計画課長 大賀流域管理指導官

連絡先：大阪市北区天満橋1-8-75

TEL 06-6881-3461,3463

Fax 06-6881-3476

「悠久の森」づくりの流れ

